

1-5 都市機能の分布状況

〈商業施設〉

商業施設は、おおむね人口密度の高いエリアや幹線道路沿いに立地しています。

〈行政施設・文化施設・教育施設〉

小中学校は、市全域に広く立地しています。その他の施設は、おおむね市街化区域内に立地しています。

〈医療施設〉

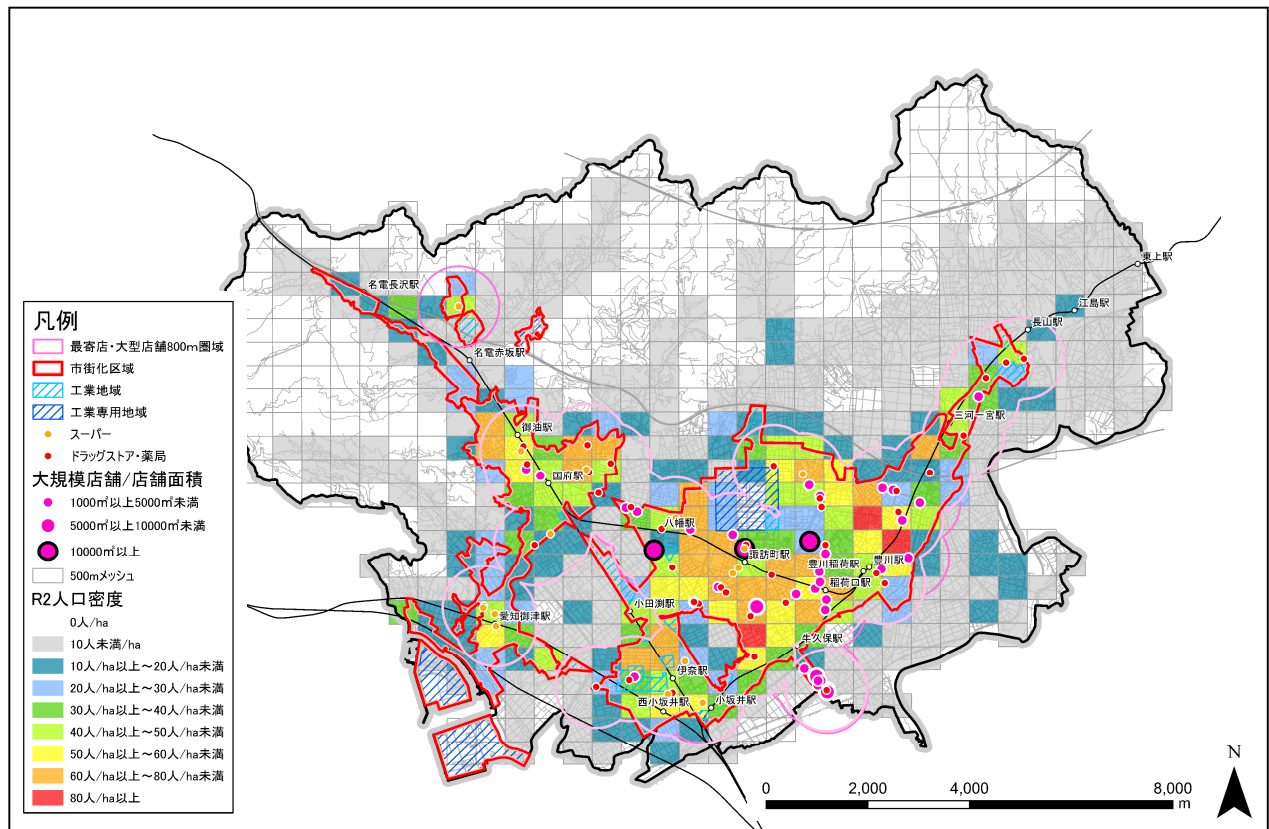
病院、診療所は、市全域に広く立地しています。

〈高齢者福祉施設・障害者福祉施設〉

いずれも、おおむね人口が多い所に立地しています

〈子育て支援施設〉

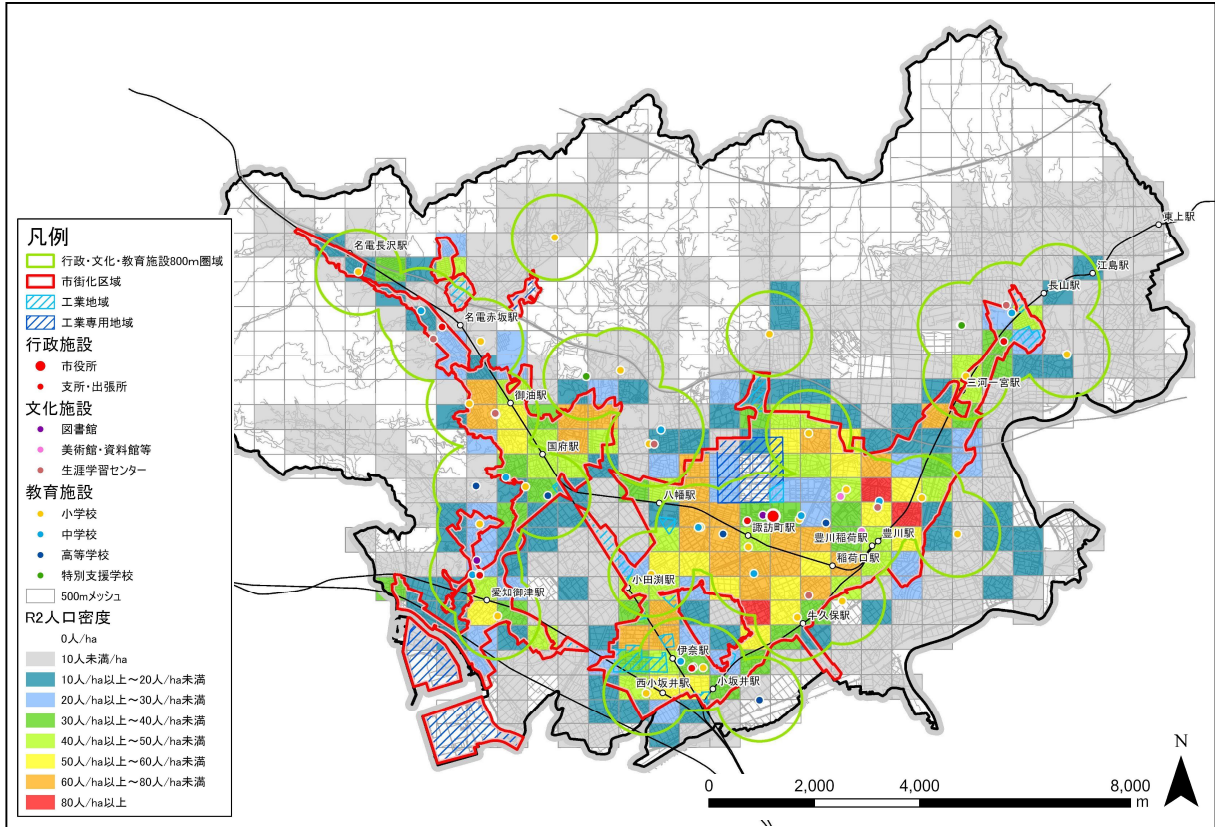
子育て関係の施設は、市全域に広く立地しています。



(国勢調査、iタウンページより)

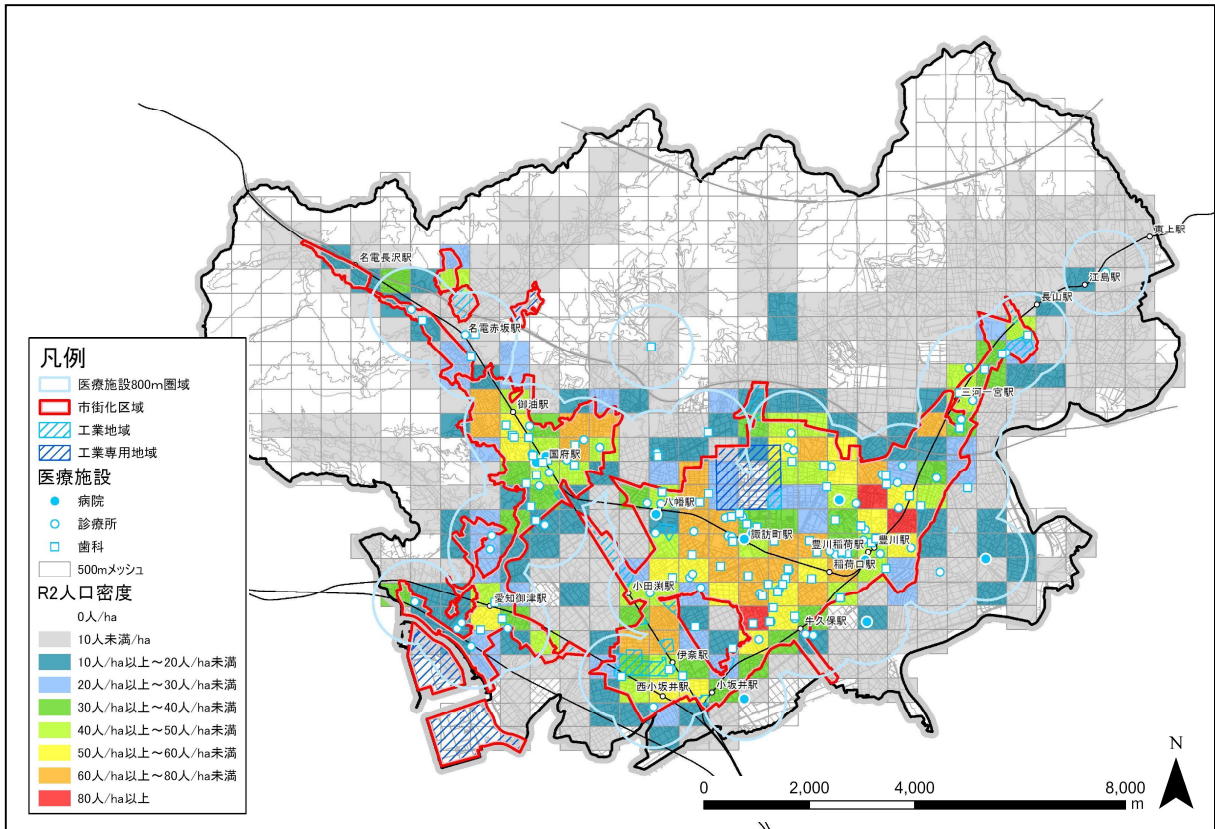
図 都市機能（商業施設）立地状況

1 都市構造の現状の整理



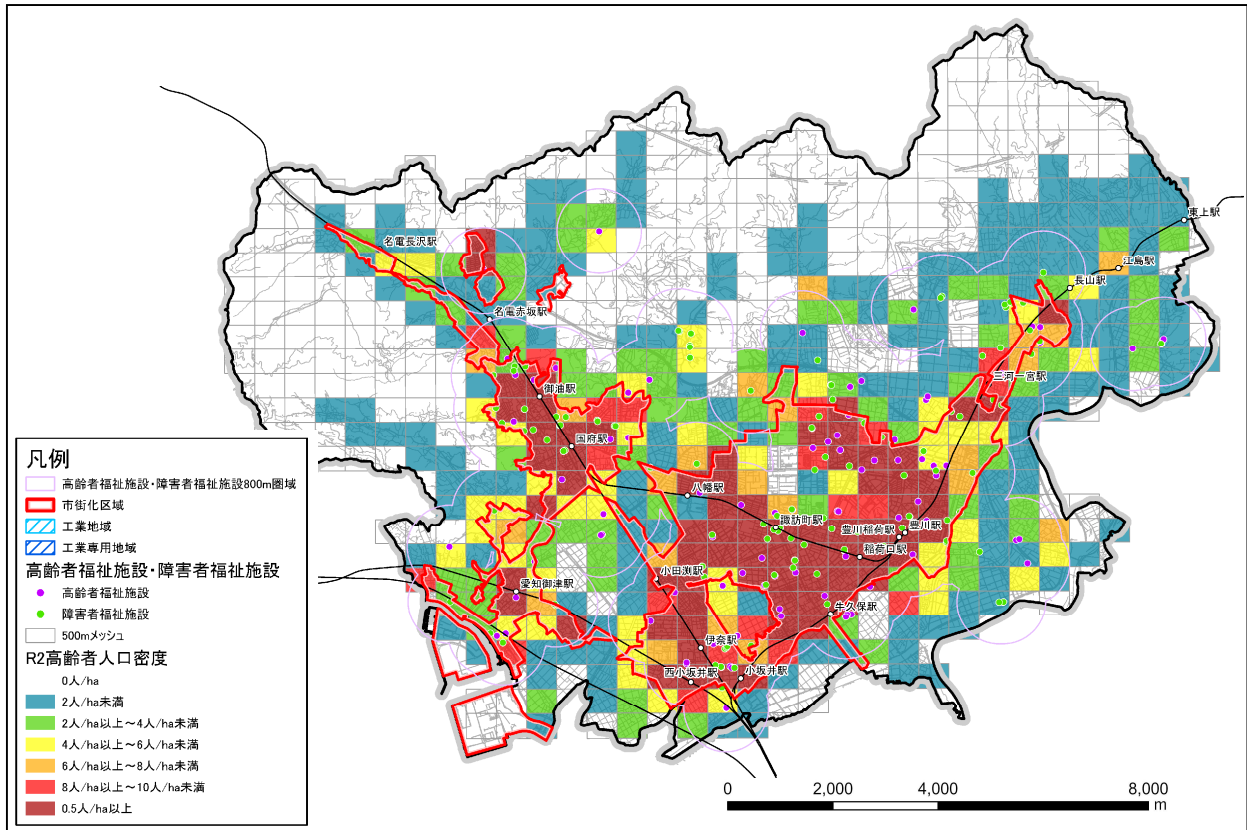
(国勢調査、国土数値情報より)

図 都市機能（行政施設・文化施設・教育施設）立地状況



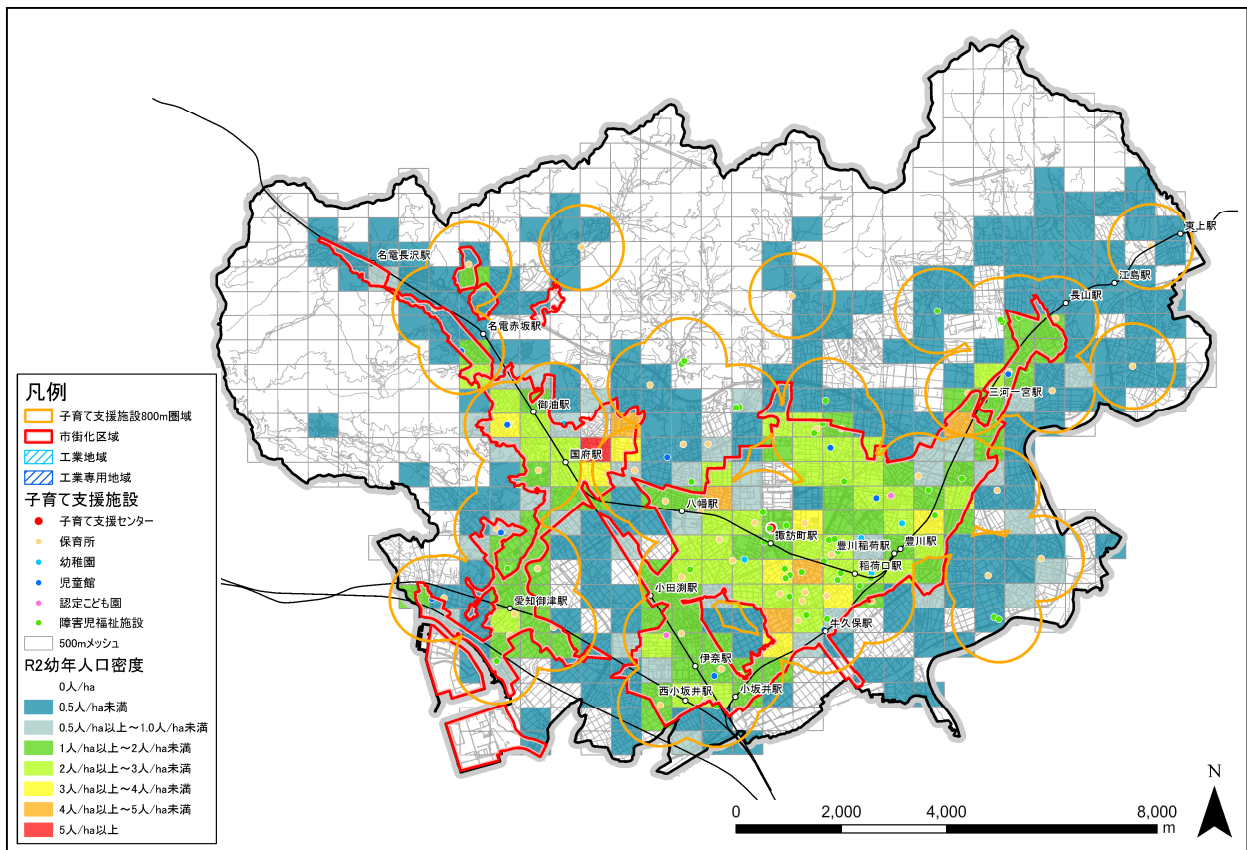
(国勢調査、国土数値情報より)

図 都市機能（医療施設）立地状況



(国勢調査、介護サービス情報公表システム (厚生労働省) より)

図 都市機能 (高齢者福祉施設・障害者福祉施設) 立地状況



(国勢調査、国土数値情報より)

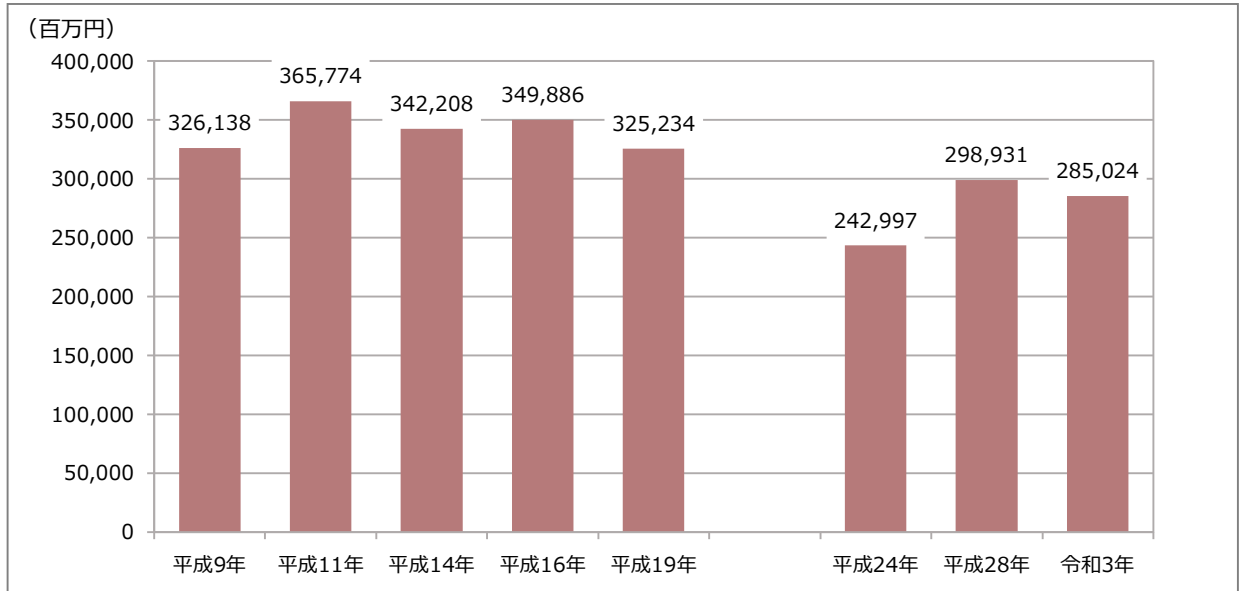
図 都市機能 (子育て支援施設) 立地状況

1 都市構造の現状の整理

1-6 経済活動の状況

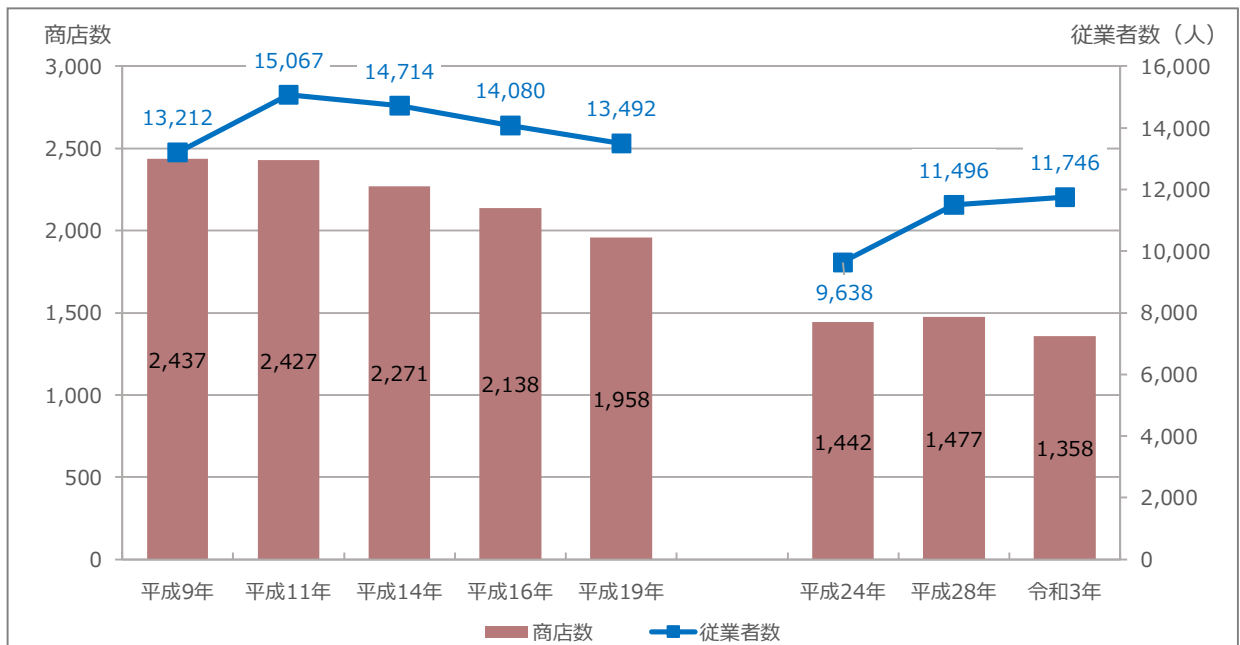
(1) 商業

年間商品販売額と商店数は、いずれも平成 11 年をピークに減少しています。
従業者数は、平成 24 年以降増加傾向にあります。



(商業統計調査・経済センサスより)

図 年間商品販売額の推移



(商業統計調査・経済センサスより)

図 商店数と従業者数の推移

(2) 観光

観光入込客数は、「B-1 グランプリ in 豊川」が開催された平成 25 年に特に多くなっています。

「B-1 グランプリ in 豊川」の影響を除きますと、平成 26 年から令和元年にかけて増加傾向が続いています。新型コロナウイルスの影響により、令和 2 年、令和 3 年は入込客数が落ち着きましたが、令和 4 年は回復傾向にあります。



(豊川市観光基本計画より)

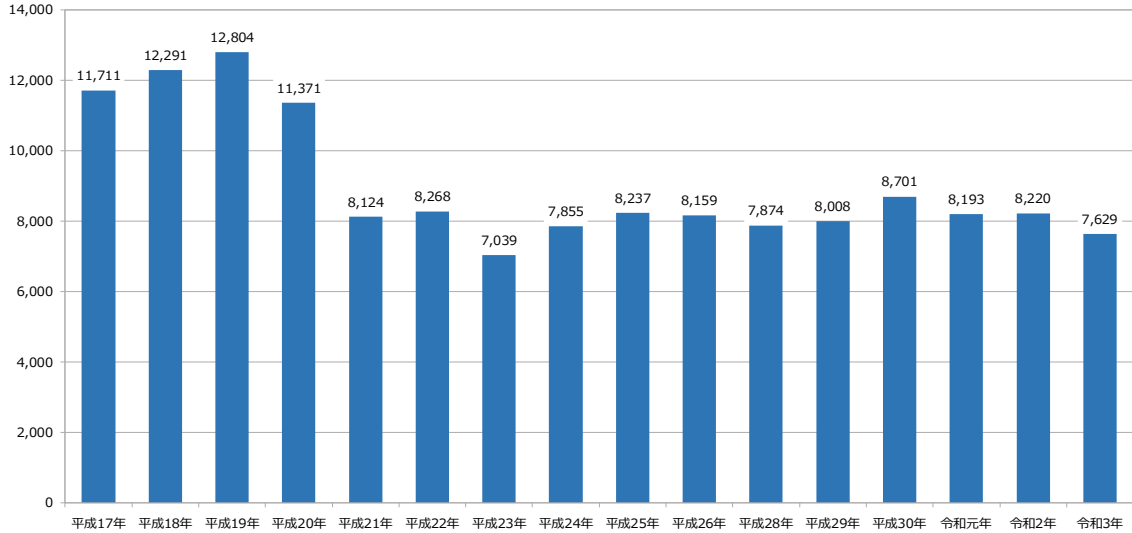
図 本市及び豊川稲荷の観光入込客数の推移

1 都市構造の現状の整理

(3) 製造業

製造品出荷額等は、平成 19 年をピークに減少傾向にあります。
事業所数はほぼ横ばい、従業者数はわずかに増加傾向となっています。

(億円)

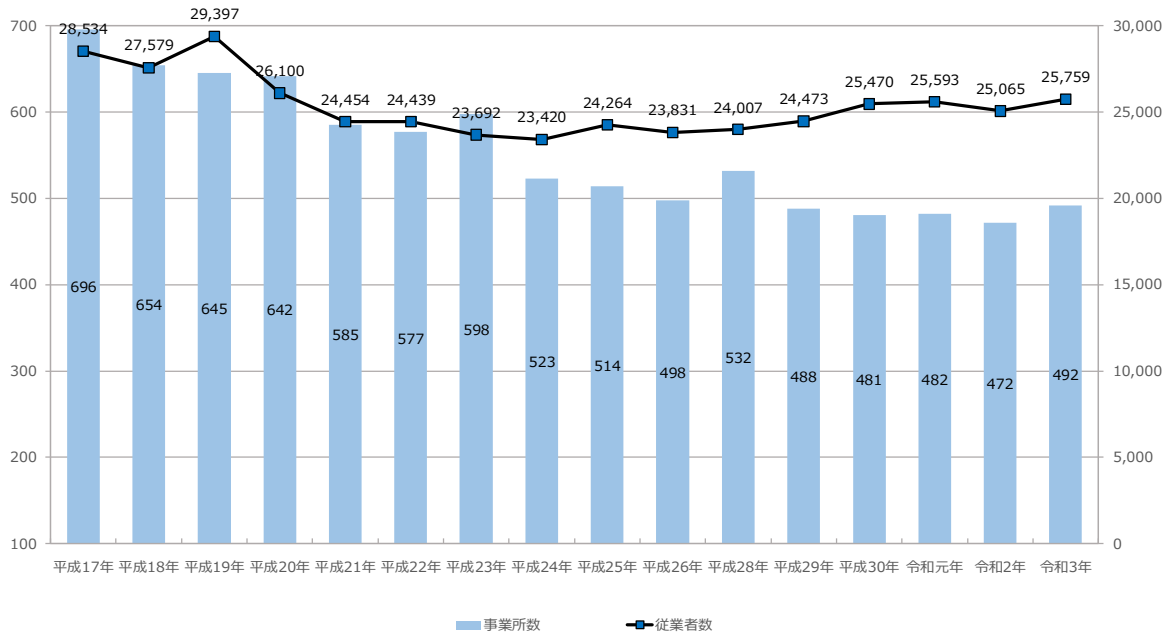


(豊川市の統計より)

図 製造品出荷額等の推移

事業所数

従業者数 (人)



(豊川市の統計より)

図 事業所数と従業者数の推移

(4) 事業所・従業員の分布状況

事業所は、豊川駅周辺、諏訪町駅周辺、国府駅周辺などに多く立地しています。平成 24 年から平成 28 年にかけて、稲荷口駅周辺で事業所数が増加しています。

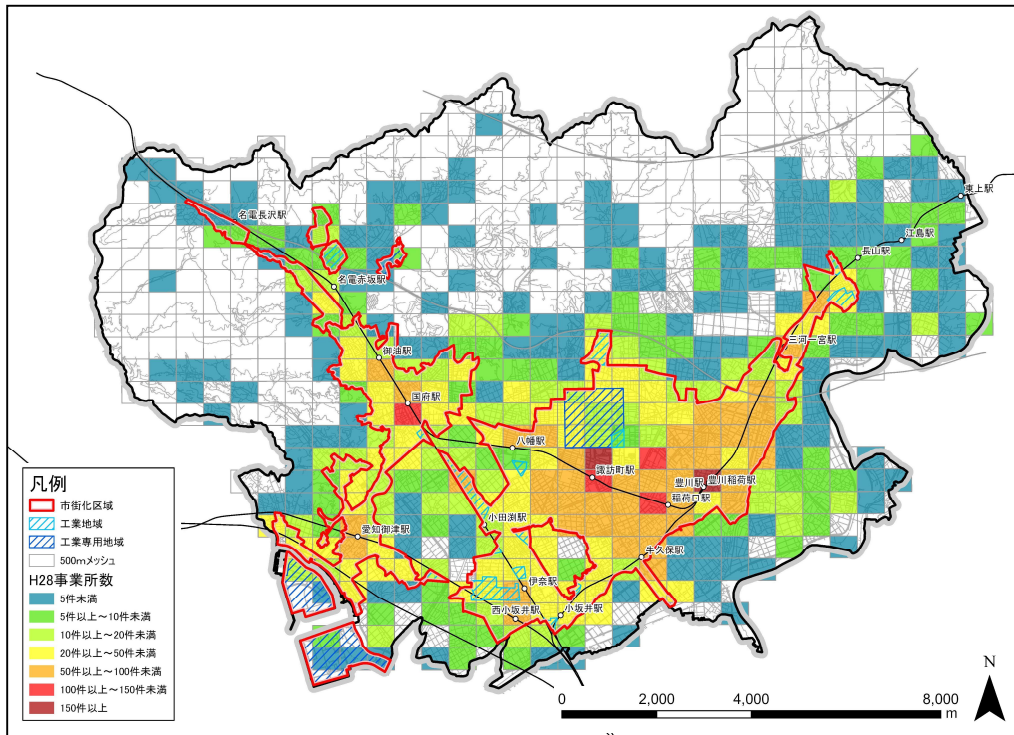


図 平成 28 年 事業所数の分布

(経済センサスより)

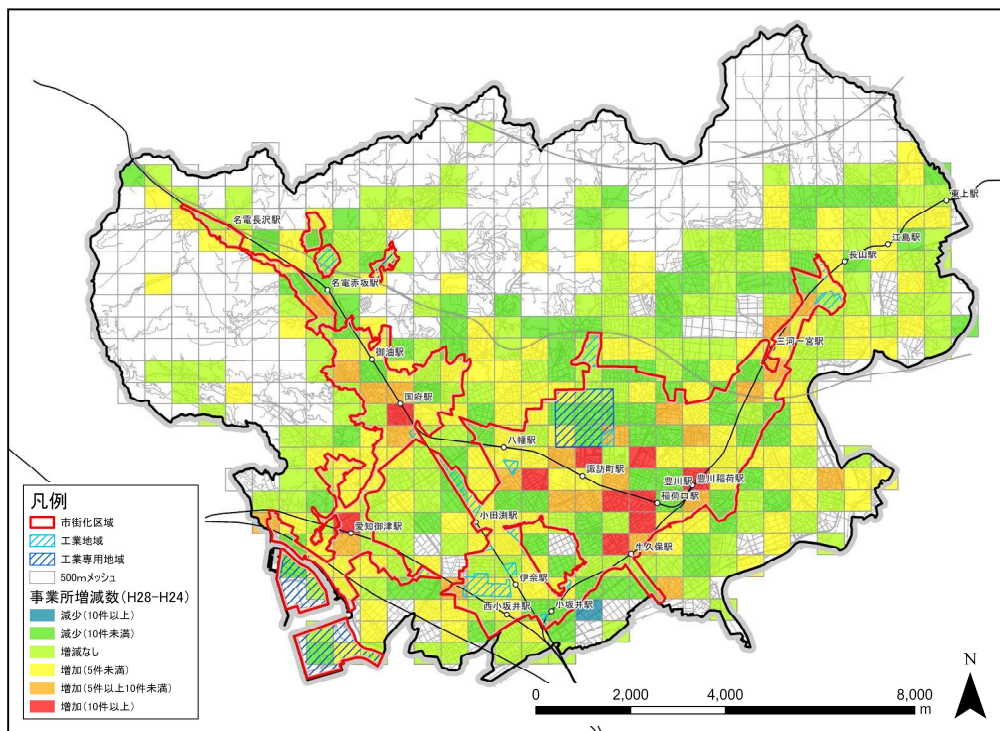


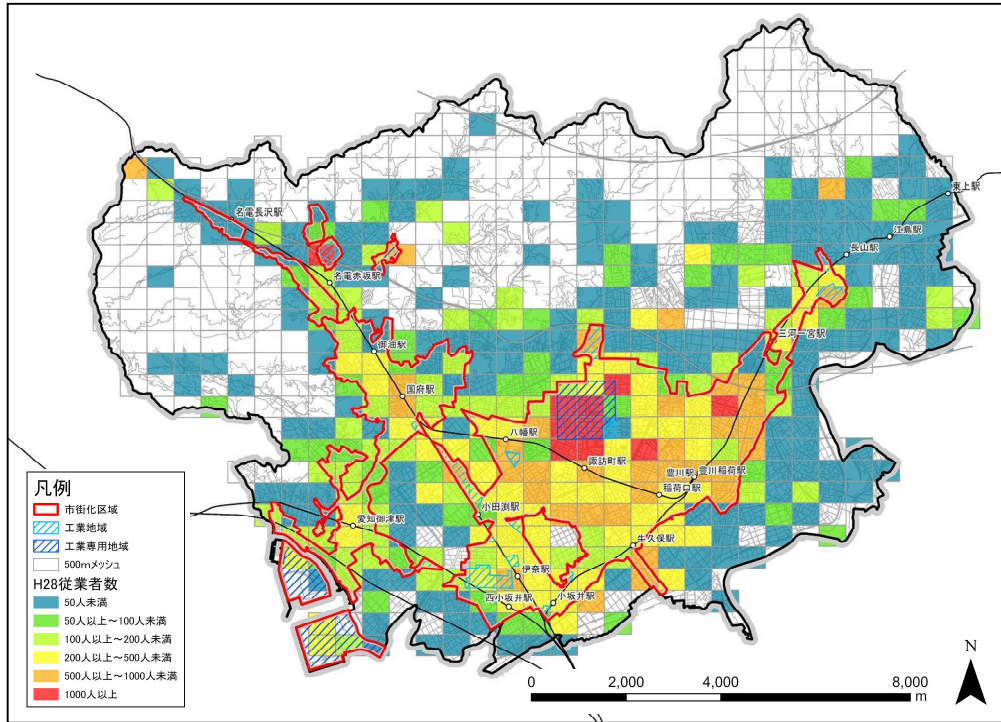
図 事業所数の増減(平成 24 年～平成 28 年)

(経済センサス、企業・事業所統計より)

1 都市構造の現状の整理

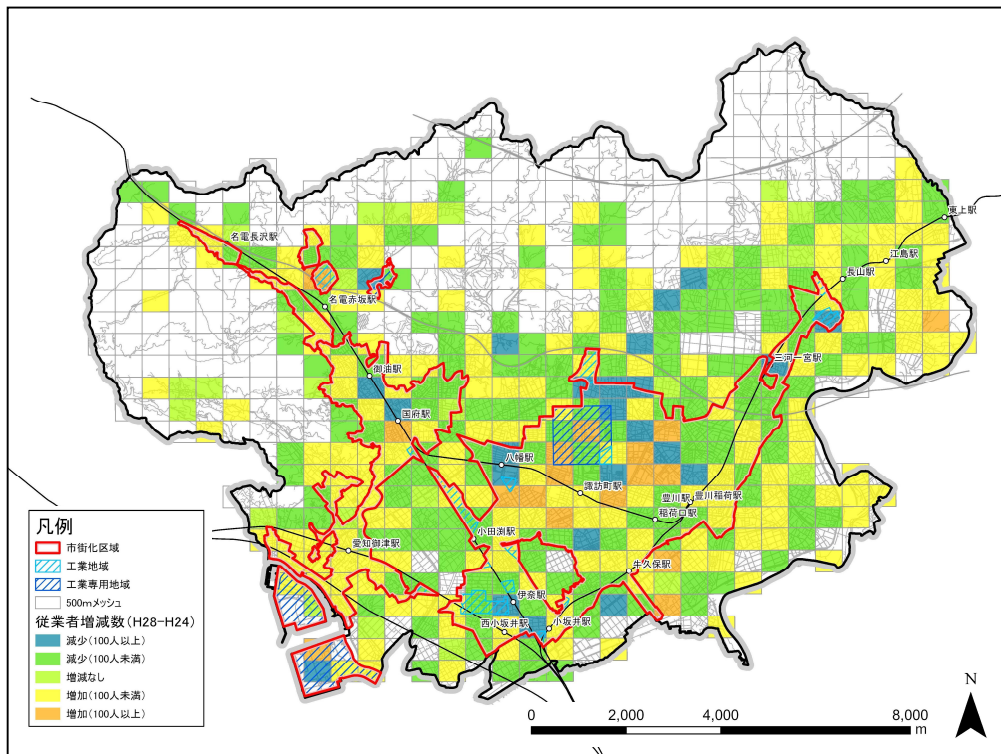
従業者数は、諏訪町駅の北側のエリアで特に多くなっています。

平成 24 年～平成 28 年にかけて、諏訪町駅の北側や八幡駅周辺では従業者数が減少しています。



(経済センサスより)

図 平成 28 年 従業者数の分布

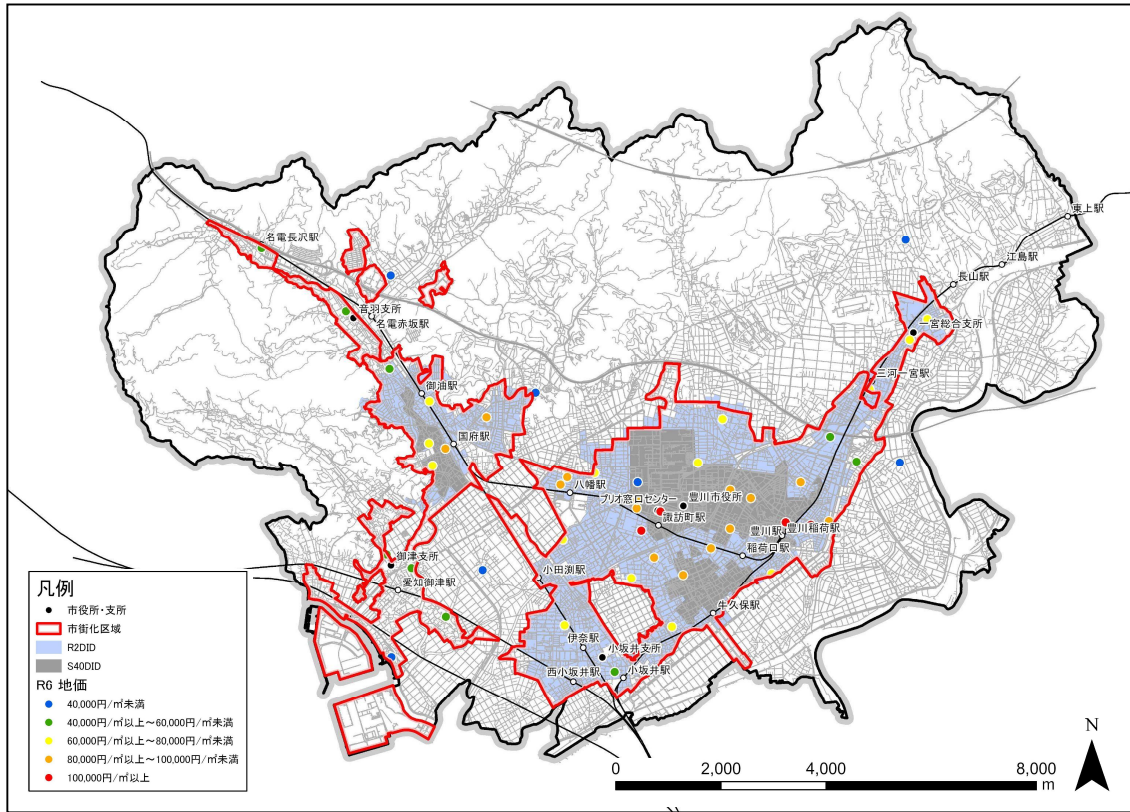


(経済センサス、企業・事業所統計より)

図 従業者数の増減 (平成 24 年～平成 28 年)

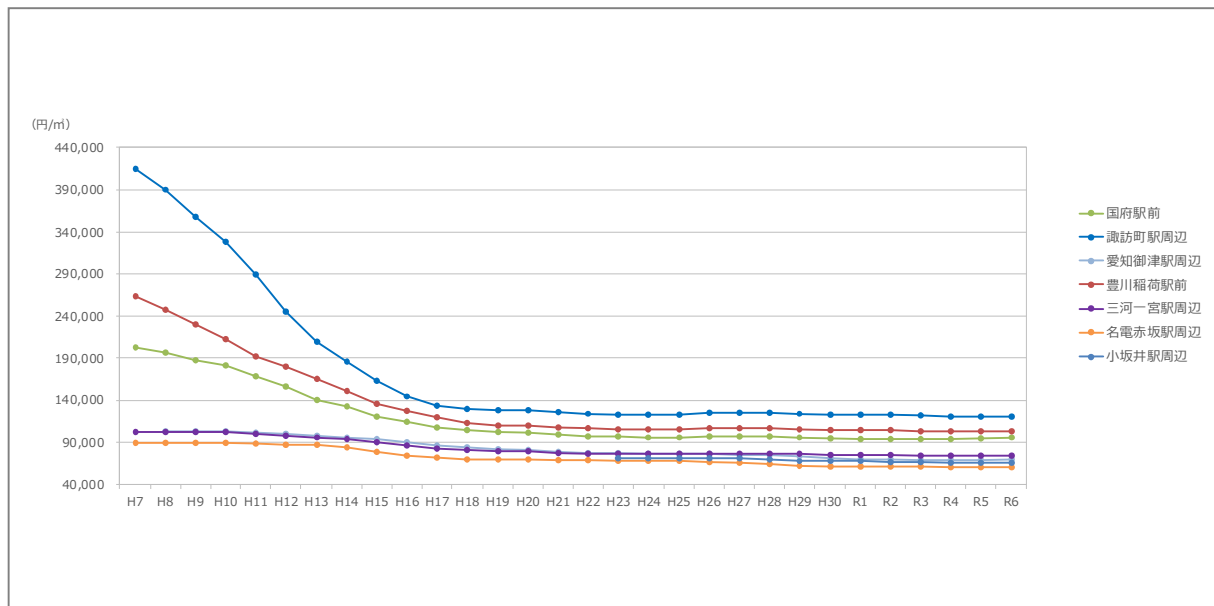
(5) 地価の状況

市内の地価は、平成 23 年まで下落傾向にありましたが、最近の 10 年間はおおむね横ばいで推移しています。国府駅前、令和 3 年以降上昇傾向に転じています。



(公示地価 (令和 6 年) より)

図 地価の状況



(公示地価より)

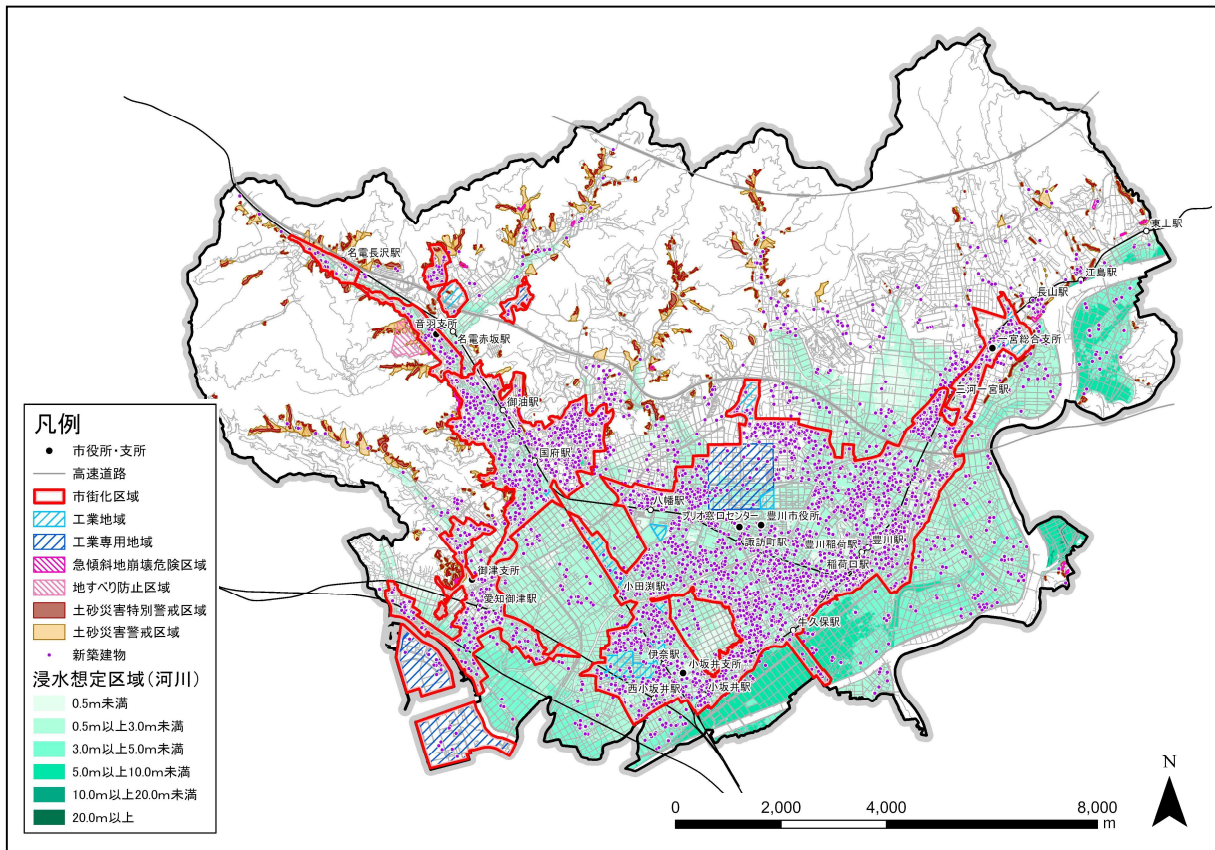
図 主要駅周辺の主な地点の地価の推移

1 都市構造の現状の整理

1-7 災害リスクの状況

想定最大規模の洪水が発生した場合、市南東部の低地では予想浸水深が 3m を超え、大きな被害が予想されます。また、市街化区域の大半が浸水深 0.5m 以上となり、床上浸水相当の被害が広い範囲で発生することが予想されます。さらに、市北部の丘陵地には、土砂災害警戒区域等が広がっています。

また、浸水想定区域内や土砂災害警戒区域等の災害リスクが高い箇所においても、建物の新築がみられます。



(中部地方整備局・愛知県浸水想定区域図 都市計画基礎調査より)

図 浸水想定区域（想定最大規模）、土砂災害警戒区域等の災害リスクが高い箇所及び新築の状況（平成 29 年～令和 3 年）